

■e-黒板ニュース（第35号）：福浜小学校と佐伯小学校の実践事例（岡山県）

岡山県に来ています。昨日は、津田教頭先生の瀬戸南高等学校訪問の後、岡山市内の福浜小学校を訪問しました。

そして今日は、岡山駅から山陽本線で東に約30分の和気駅からさらにタクシーで約20分、吉野川を遡った山あいにある和気郡佐伯町立佐伯小学校に行ってきました。

福浜小学校では、須田正人先生に授業の様子のビデオクリップを見せていただきながら、いろいろとインタビューさせていただきました。

佐伯小学校では、木村正徳先生に、国語と音楽の授業を見学させていただいた後で、お話も伺いました。

須田先生・木村先生とも、岡山県情報教育センターの研修生の時に、電子情報ボードとの出会いがあり、学校に戻られてからも授業で活用されています。お二人の実践事例は、同センターのホームページの「ICT活用動画レシピ集」

http://www2.jyose.pref.okayama.jp/cec/webresipi/vrecipe/index_a.htm
に収録されています。

今号の目次：

=====

1. 岡山の学校訪問(2)：岡山市立福浜小学校
2. 岡山の学校訪問(3)：和気郡佐伯町立佐伯小学校

=====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。会員の皆様からの投稿もお待ちしております。

宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

e-黒板研究会のホームページ

<http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban>

をご参照ください。e-黒板ニュースのバックナンバー等もご覧いただけます。

1. 岡山の学校訪問(2)：岡山市立福浜小学校

岡山市立福浜小学校は、岡山市の南に位置します。1学年が5クラスあるという大規模校です。あの有名な陸上選手の人見絹代さんの出身校としても有名な学校です。

須田先生は、昨年度、岡山県情報教育センターにいらっしゃったときに、福浜小学校の2年生を対象に、

- ・1000までの数

- ・かけ算をさがそう

- ・かけ算をつくろう

などの実践授業をされています。そのうち、

- ・1000までの数

については、岡山県情報教育センターのホームページ

<http://www.jyose.pref.okayama.jp/>

のコンテンツ「ICT動画活用レシピ集」

http://www2.jyose.pref.okayama.jp/cec/webresipi/vrecipe/index_a.htm

の中の、「展開」の事例：1000までの数

<http://www2.jyose.pref.okayama.jp/cec/webresipi/vrecipe/htm/vr018.htm>

で見ることができます。

また、今年度、福浜小学校に戻られてからは、1年生を対象に、

- ・物語文「はなの みち」（光村図書出版のデジタル教科書を活用）

<http://www2.jyose.pref.okayama.jp/cec/webresipi/vrecipe/htm/vr010.htm>

参照

や、

- ・20までのかずをさがそう

- ・生活科（啓林館の電子掛図を活用）

などの実践をされています。

インタビューでは、「電子情報ボードは、いつもいつも使うとダメ。ここぞという時に使いたい」と言われました。

また、「大きく写す、とか、縮小して貼り付けるのが便利である」「指導に用いる場合と、子どもたちの発表に用いる場合があり、指導に用いる場合では、ワークシートの説明や掛図の説明で大きく写して見せて、子どもたちに『気づかせる』ことができるのが良い」とのことでした。

課題としては「セッティングに15分くらいかかること」を挙げられました。「一般の先生方は、自分で教材が作れないので、なかなか活用がすすまない」とも。

「不便な点は？」という質問に対して、「特にないが、しいて言えば、ハード面でちょっとしたことで位置づれを起こすこと」と指摘されました。

2. 岡山の学校訪問(3)：和気郡佐伯町立佐伯小学校

校長室で仲原妙子校長先生と30分ばかりお話したあとで、9:35からの2時間目の授業を見学させていただきました。3年生で、13名（男子7名・女子6名）のクラスです。教室の正面には、大きな字で「なかよく 元気にあそぼう」という言葉が貼られていました。

国語で、単元は「道あんないをしよう」、目標は「分かりやすく道案内をするために相手に応じた話し方をすることができる」です。

谷山さんというおじいさんの絵ができました。子どもたちは、このおじいさんに孫の家までの道案内をすることになります。

教科書の地図が電子情報ボード（フロント型）に投影されています。「声の大きさ」「話す早さ」「たしかめながら」話すことを学びます。そして、「目じるし」「曲がる方向（右・左）」「じゅんじょ」を考えながら、二人で組になって練習し、最後は何人かが指名されて発表します。電子情報ボード上に道案内に従って、聞いている子どもが道筋を書き込んでいくところが面白いです。案内がわかりにくいと、道筋を書き込むことができません。

12:20～10:45の25分間の「ふれあいタイム」をはさんで、3時間目は音楽に時間です。（「ふれあいアイム」では、全学年がグループごとに一緒に遊びます。）

今日の音楽の時間は、「楽器の勉強」です。フルート、クラリネット、オーボエの3種類の楽器の音色を聞き分けます。画面の写真をクリックすると、演奏が聞けます。演奏を聴いて、その「感じ」をワークシートに書き込みます。「リズムに乗れる感じ」とか「うれしい感じ」とかです。ヒントとして出される動画像（もちろん音声付）には、教育用画像素材集 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/> が活用されていました。

子どもたちのリクエストに応じて、木村先生は画面をタッチしながら次々といろいろな音を再生していました。電子情報ボードならではの素晴らしい活用方法です。CDは音楽テープでは簡単にいきません。

インタビューでは、e-黒板とe-教科書のメリットとして、「国語や社会科など経験が必要な科目で、経験の乏しい低学年の児童に、動画等で擬似的な共通体験をさせることができる点」を挙げられました。すべての情報を与えるのではなく、一部を欠落させておいて、子どもたちに考えさせた上で、次に情報を捕捉していくやり方。すなわち、「フラッシュボード」のデジタル版としての活用が有効であると、まとめてくれました。

木村先生の実践も同じく、岡山県情報教育センターのホームページ <http://www.jyose.pref.okayama.jp/> のコンテンツ「ICT動画活用レシピ集」 http://www2.jyose.pref.okayama.jp/cec/webresipi/vrecipe/index_a.htm の中の、「展開」の事例：説明文 <http://www2.jyose.pref.okayama.jp/cec/webresipi/vrecipe/htm/vr009.htm> で見ることができます。

須田先生、木村先生、本当にありがとうございました。
そして、両先生をご紹介いただきました、岡山県情報教育センターの太田指導主事にも、心からお礼申し上げます。

以上

=====
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一
e-黒板ニュース メールアドレス： ekokuban@cec.or.jp
e-黒板研究会 ホームページ： <http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/>
=====